

## ～ 被災地支援活動ボランティアバス運行報告 ～

甚大な被害をもたらした東日本大震災。災害発生直後、全国各地から、さまざまな形で被災地への支援が行われています。和泉市社協では、被災地支援活動として7月21日～24日にかけて、宮城県南三陸町にボランティアバスを運行し、復興に向けた活動を行いました。

出発までは、台風6号の影響で運行中止の心配もありましたが、台風の進路もそれたため、ボランティア36名（男性22名、女性14名）、辻和泉市長、市職員、スタッフ5名（看護師2名、社協職員3名）の合計43名でボランティア活動を行うことができました。



南三陸町災害ボランティアセンター

活動は、がれき撤去、津波で泥だらけになった写真や書類の洗浄、支援物資の整理整頓など行いました。

まず、活動場所でリーダーから、作業の手順、余震が起こったときの避難経路などの注意事項の説明がありました。

がれき撤去は、結婚式場だった会館内の泥、魚介類の残骸などを袋に詰める作業をおこないました。



事前ミーティング



ビルの中は足の踏み場もありませんでした



でも、みんなで力を合わせれば...



こんなにきれいになりました！

2日目は、高校の体育館で支援物資の仕分けを行いました。いつまでも物資が体育館を占領していると生徒たちの授業や部活に支障が出るので、がんばって後ろ半分をきれいにしブルーシートを敷くことができました。



2日目も、みんなで力を合わせて...      こんなにきれいになりました！

◆参加者感想より

私は今回初めて災害ボランティアに参加させて頂きました。

がれきが散乱している会館を見た時はどれだけ撤去できるだろうと不安でしたが、何とか1フロアと1/4くらいをきれいに片付けることができました。

「みんなで力を合わせて作業をすれば、出来ないことはない」ということを強く感じました。

現地に足を運べば、私達に出来ることは山ほどあります。なので、もっとたくさんの方がボランティアに参加して欲しいと思いました。私は今回のボランティアで、また現地に行きボランティア活動をやりたいと思います。      (若者代表 Y.F 19歳女性)

活動は肉体労働ではありません。

津波で泥だらけになった写真や書類の洗浄も行いました。

はけや雑巾を使い、一枚ずつ丁寧に泥や汚れを取り除きました。

1枚でも多くの写真がご本人の手元に戻ることを願っています。



災害ボランティアセンターのテントの中で作業中



きれいになった写真やアルバムを展示中



被害に遭った南三陸町社会福祉協議会



歯ブラシで黙々と泥を落としています

南三陸町は、社会福祉協議会の建物も大きな被害に合い、大事な書類や資料も泥だらけになってしまいました。

その資料を1枚ずつめくって泥を落とし、何とか読めるようにする作業です。

2日目はリーダーの提案で、宿泊したホテルより歯ブラシ持参で、作業の効率がアップしました。



カフェ・あづまーれ



災害ボランティアセンターの側には、各地から集まった個人ボランティアさんのテントが並んでいました。

余談ですが、書類の洗浄を行っていた老人ホームの側には、避難所や仮設住宅などもあり、その中央にテントを張って「カフェ・あづまーれ」という喫茶コーナーが用意され、住民やボランティアにコーヒーやお茶が無料で提供されていました。お手伝いをしていたのは、各地からやってきたボランティアさん。毎日交代で災害ボランティアセンターから派遣されてくるようです。



仮設住宅の建設も進み、引越しも始まっていました。しかし、町の至るところに津波の被害に遭った爪あとが...



#### ◆参加者感想より

震災から4ヶ月以上なるのに、バスから見る被災現場は胸を裂かれる思いの連続であり、現地で活動中にも大きな余震に遭遇し、この震災の復興に終わりはないのかとさえ思われた。しかし、仮設住宅の建設や瓦礫撤去も段々進み、各地から続々と集まるボランティアのいろいろな活動から、希望も見えてきた。

自分たちの作業は、震災の大きさに比べたら微々たる事だが、少しずつの積み重ねこそが大きな成果になると信じていたい。(おっちゃん代表 T.A 67歳男性)

2日目には、3月11日以降3番目に大きな地震（震度5）もありましたが、2日間、けがをしったり体調を崩したりする人もなく、全員無事に活動を行うことができました。



みなさん 本当におつかれさまでした。

2011/7/24 AM8:43



なお、今回利用させていただきました（株）ロマンス観光さんも、ガソリン代以外は全てボランティアでご提供いただきました。会社はもちろんですが、安全運転があつてこそこの「ボランティアバス」。運転手さんありがとうございました。

株式会社ロマンス観光

<http://romance-kanko.com/>

## お知らせ！

被災地ではまだまだ多くの支援が必要です。しかし、被災地でのニーズは刻一刻と変わって行きます。今、これから私たちにできることは何なのかみんなで一緒に考えて見ませんか！

### 【SVCK 事務局】

和泉市社協 担当 仲谷

TEL 0725-43-7513

FAX 0725-41-3154

メール svck★izumi-syakyo.net

★印を@にしてください



### 23年度SVCK交流会のご案内

テーマ：東日本大震災から半年、  
今、これから私たちにできること

開催日時：9月10日（土）午後13時～16時

開催場所：和泉市立総合福祉会館

開催内容：被災地の現状報告とワークショップ

申し込み方法：9月2日（金）までに

← SVCK事務局まで、電話、メール、FAXにて